

## 謝辞

本論文の遂行に当たり、論文とレポートの違いもわからないような私に対し、温かくかつ厳しくご指導頂いた近藤隆二郎助教授には深く感謝いたします。先生がおられなければ、この論文が仕上がることはなかったです。貴重な時間を、本論文のために割いて頂いた御指導御鞭撻に深甚なる謝意を表します。

本論文を完成するに当たり、末石富太郎教授には査定して頂き、かつ、的確なアドバイスを頂いたことに感謝いたします。

本論文を作成するに当たり、橋本慎吾さん、守谷光平さんを始めとする、院生の皆様には大変お世話になりました。毎週のように4～6時間あったゼミの時間に、新しい切り口や知識、見解を与えて頂いたことに、心から感謝いたします。

本論文を作成するための一年間、多くの時間をともに過ごし、苦楽を分かち合ったゼミ生に感謝します。精神的に辛いときに支えてくれた赤松雄一君、シンポジウム企画時からともに戦ってきた在本聡子さん、4年来の親友でバカ話から論文の内容についてまで語り合った藤井裕輔君、素を出して笑いあえる前田恵子さん、ゼミ内で一番信頼できなんでも話せた渡部奈美さん、この5人と同じゼミだったことはこの一年間を何よりも充実し楽しいものとさせてくれました。本当にありがとうございました。

滋賀県立びわ湖フローティングスクールの江川久雄氏を始め、職員の方々、「うみのこ」乗組員の皆様は、『湖の子』について何一つ知らない私を温かく向い入れ、『湖の子』乗船や資料など多くの助言やサポートをして頂きました。深く感謝の意を表します。

また本論文の調査のために御協力して頂いた、各小学校の校長先生、先生方、児童の皆様にも深く感謝いたします。いきなりの調査依頼にもかかわらず、快く引き受けて頂いたことから、先生方の温かさを感じることができました。

また私事になりますが、苦しいときの息抜きに付き合ってくれた友人、生活面で助けて頂いた古野家の方々にも深く感謝いたします。

最後に、家にもほとんど帰らないような私のことを信頼し、ずっと支えてきてくれた両親、兄弟に心から感謝します。本論文を人生の糧の一つとすることによって、恩返しができるように努力いたします。

2000年2月15日

武内孝